

2度目の緊急事態宣言は解除されましたがまだまだ注意が必要です。組合の取り組みや会議は慎重に開催の可否を検討しますので、事前に支部にお問い合わせください。



第497号

発行所
東京土建一般労働組合
小金井国分寺支部
国分寺市東恋ヶ窪 2-36-32
電話 042-324-5940
発行責任者
高橋 勇一

新型コロナの感染防止対策もバッチリ 各地域で重税反対統一行動を開催

昨年から繰り返されている新型コロナウィルスの感染拡大。1年を経過しても先の見えない状況が変わらないなか、今年も確定申告の時期がやってきました。昨年と同様に確定申告書提出時の密集を避けるため、申告期限が1カ月延長され4月15日までとなっていますが、大衆増税に反対し1970年から始まった「3・13重税反対全国統一行動」が、3月12日を中心に全国各地で開催されました。

重税反対立川地域行動
立川地域の行動は、3月12日に集団申告のみの行動を中心に開催し、全体で746人（支部から14人）が参加しました。新型コロナの現状を鑑みて、残念ながら集会やデモ行進は中止となりましたが、立川税務署に隣接する公園に集合し、税務署が設置した特設会場で次々に受付を行なう様子は、全国的に見ても類を見ないほどの大規模な取り組みです。多くの仲間と一緒に確定申告を提出するのは非常に心強いこと。申告を終えた参加者からはひと安心の笑顔が見られました。集団申告終了後は例年通り、実行委員会で構成した交渉団による各所申し入れ行動を行ない、自治体や信用金庫、政党などにコロナ禍で喘ぐ中小零細企業に対する支援を要請したあと、立川税務署交渉を行ないました。



現場を抜けて集団申告に駆け付けた国③の川添さん（写真中央）

重税反対武蔵野地域行動
武蔵野地域の行動は、3月12日に武蔵野公会堂で開催しました。各地域の行動が縮小や中止となるなか、例年通り集会とデモ行進を行なったあと、武蔵野税務署の敷地内に設置された特設会場で集団申告を行ないました。全体の参加者数は、集会参加45人、集団申告参加60人とふるいませんでしたが、支部からは、昨年組合に加入したばかりの後継者世代の仲間3人が初めて行動に参加するという前進面がありました。

春の集団健康診断を受診しよう！

【日時】6月20日(日) 受付時間は後日受付票で確認
※新型コロナウィルスの感染予防対策(受付時の混雑を避けるため)を徹底するため、受付票に記載されている受付時間を厳守してください。受付時間よりも前に来られるとお待ちいただくこととなります。

【場所】国分寺ひかり診療所
小金井つるかめクリニック

【締切】6月2日(定員になり次第締切／締切厳守)

1月から取り組んだ「春一番拡大」は、2度目の緊急事態宣言が発出されるなか訪問行動日を設定せず、分会の機関会議やメール・電話を活用して「国の給付金を忘れずに申請しよう」や「困っていることはないか」などの情報を集めながら未加入者を探し、加入につなげてゆく行動となりました。この間、組合では「東京土建に相談すればワンストップで解決」を周知してきましたが、複数の分会から労災加入などで成果が上がり16人の新しい仲間を迎えることが出来ました。

4月からはいよいよ「春の拡大月間」がスタートしました。緊急事態宣言は解除されましたが、東京都の新規感染者数は減少しておらず、関西圏で猛威をふるう変異ウィルスにも注意が必要です。十分な感染予防対策を取りながら仲間の訪問行動を進めましょう。統一行動日は以下の通りです。

4月19日・20日・26日・27日
5月9日・13日・14日
19日・20日・25日・26日

春一番拡大から春の拡大月間へ 困っている仲間はすぐ土建に相談だ！

1月から取り組んだ「春一番拡大」は、2度目の緊急事態宣言が発出されるなか訪問行動日を設定せず、分会の機関会議やメール・電話を活用して「国の給付金を忘れずに申請しよう」や「困っていることはないか」などの情報を集めながら未加入者を探し、加入につなげてゆく行動となりました。この間、組合では「東京土建に相談すればワンストップで解決」を周知してきましたが、複数の分会から労災加入などで成果が上がり16人の新しい仲間を迎えることが出来ました。

4月からはいよいよ「春の拡大月間」がスタートしました。緊急事態宣言は解除されましたが、東京都の新規感染者数は減少しておらず、関西圏で猛威をふるう変異ウィルスにも注意が必要です。十分な感染予防対策を取りながら仲間の訪問行動を進めましょう。統一行動日は以下の通りです。

4月19日・20日・26日・27日
5月9日・13日・14日
19日・20日・25日・26日

昨年は新型コロナのパンデミックが暮らしや仕事に大きな影響を及ぼした。今年も年明けから緊急事態宣言が発出され、やっと解除されたと思ったら今度は「まんぼう」とは「まん延防止等重点措置」の略称で今年の2月に新設された制度。新型コロナの感染が急速に拡大した特定の地域に対して、都道府県知事が即座に集中的な対策を講じることが出来るようになりましたが、東京でも400人超えが4日連続し大阪でも変異株が爆発的に増加。感染者数が全国的に増加傾向でも緊急事態宣言は解除。終息が見えずイタチごっこです▼毎年恒例だったお花見は昨年今年もガマン。妻が小品盆栽で桜を飾ってくれたおかげで、愛犬と一緒にお花見が出来たのがせめてもの救いです。愛犬「つくし」も今年で3歳になりました。はじめは飼うのが難しかったけど今は癒されています▼毎年多くの仲間が参加して声をあげる三多摩メーデーは今年も新型コロナの影響で縮小ムード。デコのコテストを開催してはしかなかったが中止のようです▼先月のコラムで紹介した先輩の息子が小金井市議選で当選。本当に良かった。これから市議としてがんばってほしい。住んでいる地域は違うけど、彼と一緒に様々な運動にがんばりたい。

コロナで活動はできないけど 後継者対策部がんばってます



今回の部会には新しい仲間が2人も参加

新型コロナウイルスの影響で組合活動は大幅に縮小されていますが、後継者対策部は毎月部会を開催し、同世代の仲間と近況報告やミニ学習などを行ない交流しています。活動が停滞している青年部も部会に合流させても



総会開始後もぞくぞくと集まってくる参加者(小西分会)

3月28日の日曜日を中心に、地域の各分会で分会総会と保険証交付会を開催しました(前原は3月27日・国③は3月29日)。昨年頃から続く新型コロナウイルスの感染拡大。年明けに出さ

活発な意見交換で新年度方針を確認 地域分会で分会総会を開催



各世代から活発な意見交換が行われた国①分会

れた2度目の緊急事態宣言は解除されていましたが、東京での感染者が増加傾向を示しているなかでの開催とあって、感染防止対策を徹底しつつも多くの仲間の意見を反映できるよう、各分会で創意工夫を凝らしながらの開催となりました。

組合に相談すればすぐに解決 ひとりで悩まず まずは相談!

【組織部長・朝倉法明記】3月の支部の議案に「組合の力」で改善された事業が2件報告されました。ひとつは、8畳のスペースで20人が密状態で朝礼が行われている現場があるので改善してほしいという型枠職から報告。支部から本部に報告し、本部が元請け企業に改善を要請しました。すぐに返答があり他の現場も含めて感染症対策を周知しましたとの回答があり改善されました。もうひとつは、4件分の工事代金が未払いになっていると相談に来た塗装職の話。元請けは次の工事が終わったら払うと毎回逃げていましたが、支部事務所に相談して、その場で元請けに電話。「組合に相談したか」と支払いの覚悟を決めて解決に向かいま

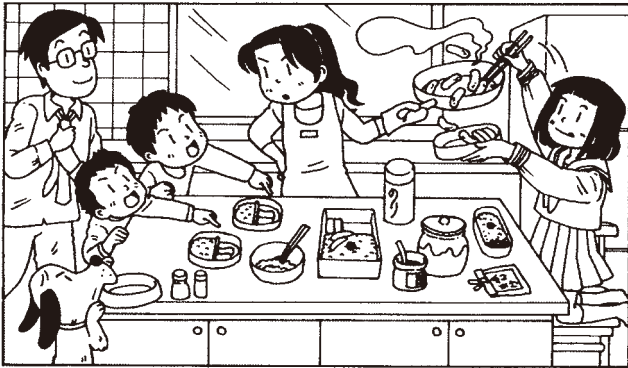
した。やはり東京土建の影響力は大きい。工事代金の悩むのはやめましょう。

組合に相談のあった以上の2件はすぐに改善されました。心配事や困ったことがあったら、まずは組合に電話してください。一人で悩むのはやめましょう。

未払い相談は今後ますます増えることが予想されます。コロナ禍で、元請けや上位会社が今まで通りの経営状態ではありえませんか、支払い契約は必須であり大事です。



3月号まちがいがしるの回答 ①左端・枕にしている座布団 ②左側・腕を枕に寝ている子の左袖 ③手前・落ちていたボールの向き ④中央・奥の子の右目 ⑤右側・足を枕に寝ている子の口 ⑥右奥の戸の位置 ⑦犬が枕にしている足の靴下の有無



7つのマチガイ

【問題】上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります!どこでしょう? (作・野上和彦)

